

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	3	教科書名(発行所)	国語表現改訂版(教育出版)						
学 期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい			評価の観点				
		観点1	観点2	観点3	観点4	観点5							
一 学 期	4	1 コミュニケーションのために				○アイスブレイクを行い、コミュニケーションのための土台を作る。			○	○	◎		
		2 文章表現の基礎				○文字の表記からわかりやすい文章の書き方まで、文章表現に必要な基礎力について確認する。			○		○		◎
	5	中間考査											
		3 小論文 I				○文章の「型」を各種のトレーニングを通して習得し、論理的文章を書くための基礎力を養成する。			○		◎		○
	6	4 声の表現				○声を出すことの重要性、困難性について理解を深める。							
		6 面接 社会との接点				○聞き手を意識した話し方について考えさせ、時と場所に応じた話し方を身に付けさせる。							
	7	6 面接 社会との接点				○自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べるという面接の学習をおして、社会への参加能力を育てる。			○	◎			○
		10 小論文 II				○課題型小論文の書き方を身につけるとともに、論文執筆の際のルールに習熟する。			○		◎	○	○
	9	11 話し合いの方法				○目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。			○	◎			○
		7 言葉遊びと創作				○意味の伝達という言葉の「中心」的機能だけでなく、遊び心のある言葉の世界を体験させる。			○		◎		
	11	7 言葉遊びと創作				○言葉のセンスを磨くと同時に、言語文化の歴史的な連なり、社会的な広がりを学ぶ。							
		期末考査											
12													
三 学 期	1	14 メディア・リテラシー				○身の回りのさまざまなメディアについて知り、それぞれの特性をふまえた情報発信とその社会的意味について認識を深める。			○		◎		○
		学年末考査											
	2												
3													

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評 価 に つ い て	観点1: 関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	行動の分析(ノート・発言)
	観点2: 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	行動の分析(発表・ノート・メモ)
	観点3: 書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	記述の分析(ノート・発表・実作)
	観点4: 読む能力		
	観点5: 知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	行動の観察(発言・ノート)

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2	教科書名(発行所)	現代文B(教育出版)									
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい			評価の観点							
		観点1	観点2	観点3	観点4	観点5										
一 学 期	4	第一部 評論五 「である」ことと「する」こと				<ul style="list-style-type: none"> ・難解な語句の意味を確認させる。 ・小見出しに従って、各段落の内容を理解させる。 ・筆者の問題提起を正しく理解させる。 ・問題提起と現代社会の諸問題とのつながりを理解させる。 	○		○	◎	○					
		中間考査														
		第二部 小説一『美神』					<ul style="list-style-type: none"> ・作者について文学史的基本事項を理解させる。 ・感想を書かせ、物語世界に関心を持たせる。 ・登場人物の人物像を正しく読み取らせる。 ・美の普遍性と人間に対する作者の考えを理解させる。 ・小説を読む楽しさを味わわせる。 	○	○		◎	○				
		中間考査														
	7 評論一 虚構のリアリズム				○					◎	○					
	8 評論三 「民話と幻想」				<ul style="list-style-type: none"> ・全文を通読させ、段落構成を把握させる。 ・心理学について調べさせ、筆者の立場を理解させる。 ・各段落の役割を捉えさせて筆者の主張を正しく理解させる。 ・現代における幻想の物語の意味を考えさせる。 			○			◎	○				
	中間考査															
	10 大学入試問題演習						○			◎	○					
中間考査																
二 学 期	11	中間考査				<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 	○	○	○	◎						
		12 大学入試問題演習					○	○		◎	○					
	中間考査															
	1 大学入試問題演習				○		○		◎	○						
三 学 期	2	2 学年末考査				<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 					◎					
		中間考査														
		3 学年末考査														

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評価について	観点1: 関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・学習活動への取組の状況 ・課題の提出状況
	観点2: 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして自分の考えを深め、発展させている。	・学習活動への取組の状況
	観点3: 書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めて発展させている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容
	観点4: 読む能力	文章の内容を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深めて発展させている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容
	観点5: 知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまり、文学史、作者や作品についての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2	教科書名(発行所)	現代文B(教育出版)										
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい			評価の観点								
		観点1	観点2	観点3	観点4	観点5											
一 学 期	4	第一部 評論五 「である」ことと「する」こと				<ul style="list-style-type: none"> ・難解な語句の意味を確認させる。 ・小見出しに従って、各段落の内容を理解させる。 ・筆者の問題提起を正しく理解させる。 ・問題提起と現代社会の諸問題とのつながりを理解させる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>							
	5	中間考査															
	6	第二部 小説『美神』					<ul style="list-style-type: none"> ・作者について文学史的基本事項を理解させる。 ・感想を書かせ、物語世界に関心を持たせる。 ・登場人物の人物像を正しく読み取らせる。 ・美の普遍性と人間に対する作者の考えを理解させる。 ・小説を読む楽しさを味わわせる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>						
	7	期末考査 評論一 虚構のリアリズム						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>						
	8	評論三 「民話と幻想」						<input type="radio"/>			<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					
	9							<input type="radio"/>									
	10	中間考査 大学入試問題演習						<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					
	11																
12	期末考査 大学入試問題演習				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>							
三 学 期	1	大学入試問題演習				<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					
	2	学年末考査															
	3																

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評 価 に つ い て	観点1: 関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・学習活動への取組の状況 ・課題の提出状況
	観点2: 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして自分の考えを深め、発展させている。	・学習活動への取組の状況
	観点3: 書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めて発展させている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容
	観点4: 読む能力	文章の内容を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深めて発展させている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容
	観点5: 知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまり、文学史、作者や作品についての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3	教科書名(発行所)	現代文B(教育出版)										
学 期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい			評価の観点								
		観 点 1	観 点 2	観 点 3	観 点 4	観 点 5											
一 学 期	4	第一部 評論五 『「である」ことと「する」こと』				<ul style="list-style-type: none"> ・難解な語句の意味を確認させる。 ・小見出しに従って、各段落の内容を理解させる。 ・筆者の問題提起を正しく理解させる。 ・問題提起と現代社会の諸問題とのつながりを理解させる。 	○	○	◎	○							
	5	中間考査															
	6	第二部 小説一『美神』『アルプスの少女』					<ul style="list-style-type: none"> ・作者について文学史的基本事項を理解させる。 ・感想を書かせ、物語世界に関心を持たせる。 ・登場人物の人物像を正しく読み取らせる。 ・美の普遍性と人間に対する作者の考えを理解させる。 ・小説を読む楽しさを味わわせる。 	○	○	◎	○						
	7	期末考査 評論一 虚構のリアリズム							○	○	○	◎					
	8								○	○	◎	○					
	9	評論三 「民話と幻想」															
	二 学 期	10	〔中間考査〕 小説三『舞姫』				<ul style="list-style-type: none"> ・作者について文学史的基本事項を理解させる。 ・あらすじをまとめさせ、文章全体の構造を整理させる。 ・主人公の人物設定と時代背景について整理させる。 ・登場人物の性格や心理的变化の過程を正確に読み取らせる。 ・登場人物の生き方についてどう評価するか考えさせる。 	○	○	◎	○						
		11															
12		〔期末考査〕 小説三『舞姫』						○	○	◎	○						
三 学 期	1	評論四 「技術の変質と二十一世紀の課題」				<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の問題意識と論の展開を理解させる。 ・現代技術の特質を理解させる。 ・技術の変質と文化的課題について筆者の主張を理解させる。 	○	○	◎	○							
	2	〔学年末考査〕 家庭学習課題 国語常識のトレーニング						○	◎								
	3																

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評 価 に つ い て	観点1: 関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・学習活動への取組の状況 ・課題の提出状況
	観点2: 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして自分の考えを深め、発展させている。	・学習活動への取組の状況
	観点3: 書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めて発展させている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容
	観点4: 読む能力	文章の内容を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深めて発展させている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容
	観点5: 知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまり、文学史、作者や作品についての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	古典B	単位数	2	教科書名(発行所)	精選古典B新版(東京書籍)						
学 期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい			評価の観点				
		観点1	観点2	観点3	観点4	観点5							
一 学 期	4	古文編 II部 2 日記				<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物について理解させる。 ・道長と作者とのやり取りの内容を的確に理解させる。 ・和歌に込められた詠み手の心情を正確に読み取らせる。 ・訓点や仮名遣いに注意して正しく書き下し文を完成させる ・句法を理解させ、正しく現代語訳させる。 ・文脈に即して出来事の経過を理解させる。 	○			○	◎		
	5	中間考査 漢文編 思想2 諸子百家 「侵官之害」											
	6	古文編 II部 2 日記 『和泉式部日記』 夢よりもはかなき世の中を					<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項に留意しながら正しく現代語訳させる。 ・登場人物の動きと話の概要を理解させる。 ・当時の美意識について理解させる。 ・登場人物の各場面における心情を正確に読み取らせる。 ・物語世界の魅力を感じ取らせ、『源氏物語』に興味を持たせる。 	○			○	◎	
	7	期末考査 大学入試問題演習					<ul style="list-style-type: none"> ・物語世界の魅力を感じ取らせ、『源氏物語』に興味を持たせる。 ・問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 	○				◎	
	8	古文編 II部 5 物語 『落窪物語』 姫君の苦難											
	9	中間考査 大学入試問題演習					<ul style="list-style-type: none"> ・『落窪物語』について作品の概要を理解させる。 ・文法事項に留意しながら正しく現代語訳させる。 ・描写や表現をもとに登場人物の心情を正確に理解させる。 ・訓点に注意し、正しく音読させる。 ・句法を理解させ、正しく現代語訳させる。 ・本文に説かれている法治主義について理解させる。 	○				◎	
	11	期末考査 大学入試問題演習											
	12	大学入試問題演習					<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 	○				◎	
三 学 期	1	大学入試問題演習				<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 	○				◎		
	2	学年末考査 大学入試問題演習				<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 	○			○	◎		
	3												

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評 価 に つ い て	観点1: 関心・意欲・態度	古典に興味を持ち、古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	・授業態度及び提出課題
	観点2: 話す・聞く能力		
	観点3: 書く能力		
	観点4: 読む能力	古典を読んで思想や心情などを的確に捉えたり、それらについて考察したりすることで、自分の考えを深め、発展させている。	・定期考査及び小テスト等
	観点5: 知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、文学史などについての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考査及び小テスト等

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	古典B	単位数	教科書名(発行所)	評価の観点					
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)			指導内容や学習のねらい	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5	
一 学 期	4	古文編 II部 1 説話 『十訓抄』 成方という笛吹き			<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の各場面における心情を正確に読み取らせる。 問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 	○		◎	○		
	5	中間考査 5/16～5/19									
	6	古文編 I部 7 物語 『源氏物語』(一) 若紫 漢文編 II部 三国志の世界 『十八史略』				<ul style="list-style-type: none"> 当時の美意識について理解させる。 登場人物の各場面における心情を正確に読み取らせる。 物語世界の魅力を感じ取らせ、『源氏物語』に興味を持たせる。 	○		◎	○	
	7	期末考査 6/28～7/4 古文編 II部 上代の文学 『古事記』 倭建命				<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 訓点に注意し、正しく音読させる。 句法を理解させ、正しく現代語訳させる。 本文に説かれている法治主義について理解させる。 	○		◎	○	
		夏休み課題									
	8	古文編 II部 5 物語 『落窪物語』 姫君の苦難				<ul style="list-style-type: none"> 『落窪物語』について作品の概要を理解させる。 文法事項に留意しながら正しく現代語訳させる。 描写や表現をもとに登場人物の心情を正確に理解させる。 	○		◎	○	
	9	漢文編 II部 6 思想 諸子百家 侵官之害				<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 訓点に注意し、正しく音読させる。 句法を理解させ、正しく現代語訳させる。 	○		◎	○	
	10	〔中間考査〕					○		◎	○	
二 学 期	11	漢文編 II部 史記2 荊軻伝 韓信伝				○		◎	○		
	12	〔期末考査〕 大学入試問題演習			<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 	○		◎	○		
	1	評論四 「技術の変質と二十一世紀の課題」				○	○	◎	○		
三 学 期	2	学年末考査 1/25～1/30 家庭学習課題 国語常識のトレーニング			<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を行い、実戦的な力を身に付けさせる。 				◎		
	3										

評価について	評価の観点	評価の規準	評価の方法
	観点1: 知識及び技能	古典に興味を持ち、古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	
	観点2: 思考力、判断力、表現力	古典を読んで思想や心情などを的確に捉えたり、それらについて考察したりすることで、自分の考えを深め、発展させている。	・定期考査及び小テスト等 〔授業態度及び提出課題〕
	観点3: 学びに向かう力・人間力	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、文学史などについての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考査及び小テスト等 〔授業態度及び提出課題〕

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	教科書名(発行所)	数研出版	評価の観点			
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい			観点1	観点2	観点3
一 学 期	4	書き手の意図をつかむ「目指す世界の地図を作る」				表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解させる。また、「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。			○	◎	
	5	書き手の意図をつかむ/【チェックポイント1】わかりやすく話す				話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解させる。			◎	○	◎
	6	対比を読み取る「水の東西」				対比を用いた文章の特徴を理解させ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。個別の情報と一般化された情報との関係について理解させる。			○	◎	
	7	話し言葉の技術「ディベート・討議」				論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価させる。積極的に話し合いに参加し、話し合いの目的に応じて、結論の出し方を工夫することができる。				○	◎
	8	日常の中の文章「写真を文章で説明する」				自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えさせるとともに、表現の仕方を工夫させる。読み手に伝わりやすいように表現を考えることができる。				○	◎
	9	コミュニケーションと言葉「世間話はなぜするか」				実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色を理解させる。目的に応じて情報を相互に関連付けながら、書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めることができる。			○	◎	
	10	言葉の働きをとらえる「語感トレーニング」				実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語彙の構造や特色を理解させる。文章や話の中で使うことを通して語感を磨くことができる。			◎	○	
二 学 期	11										
	12	書き言葉の技術「要約する」				要約の方法を理解させる。筆者が言いたいことを見極め、正しく読み、適切にまとめることができる。			◎	○	
	1	根拠を読み取る「「わらしべ長者」の経済学」				文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。			◎	○	
三 学 期	2	書き言葉の技術「意見文を書く」				「報告分」「説明文」「要約文」「意見文」など、文章には目的に応じて様々な形態があることに注意を向けさせ、意見文の文章構成を理解させる。自分の意見が伝わるように文章の展開を考え、まとめることができる。			○	◎	
	3										

評価について	評価の観点	評価の規準	評価の方法
	知識・理解	習得した知識・技能を既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念などを理解したり、技能を習得したりしているか。	考查問題 小テスト
	思考・判断・表現	国語科の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているか。	考查問題・小テスト レポート作成 グループでの話し合い・発表
	主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を習得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方を試行錯誤して調整しながら、学ぼうとしているか。	ノート・課題への取組と提出の状況 授業中の発言と教師による行動観察 生徒による自己評価と相互評価の状況

令和5年度 東温高等学校シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	教科書名(発行所)	「高等学校 言語文化」(数研出版)
----	----	----	------	-----	---	-----------	-------------------

1 学習の到達目標

基礎的な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。また、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとするようになる。

2 評価の規準・評価の仕方

	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 小説の読解方法を理解している。 詩や短歌、俳句のきまりや表現方法を理解している。	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色を正確に指摘し、作者の意図を推測しながら、その効果を説明できる。	積極的に古典作品や小説、韻文の表現方法やその効果について考察し、学習課題に沿って授業やグループ学習に参加している。
評価の仕方	定期考査 ワークシート 小テスト 単元テスト	定期考査 ワークシート 感想文 授業中の発言内容	授業中の態度 グループ活動時の態度 自己評価 授業ノート 提出物

3 学習計画及び評価の観点(観点1:知識・技能 観点2:思考力・表現力・判断力 観点3:主体的に学習に取り組む態度)

学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)	学習のねらい	評価の観点		
				観点1	観点2	観点3
一学期	4	古文の世界を楽しむ「児のそら寝(宇治拾遺物語)」	古典を読みために必要な文語のきまりや古典特有の表現を理解させる。	○	◎	
		日本語の中に生きる漢文「入門一」・「入門二」	訓読のきまりと書き下し文にするためのきまりを理解させる。	◎		○
	5	【中間考査】 故事と成語「狐借虎威」	訓読のきまりを定着させる。句法について学ばせる。 寓話が作られた背景や話者が主張しようとしたことを理解させる。	◎	○	
	6	和歌による心の交流「芥川(伊勢物語)」	和歌の手法や校歌を理解させる。 登場人物の心情を理解させる。	○	◎	
	7	【期末考査】 現代にも生きる教え 「ある人、弓射ることを習ふに」	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方・考え方と比較し、深めさせる。	◎		○
二学期	8	受け継がれる古文「羅生門」「探究の扉 今昔物語集」	小説読解における基本的学習事項を理解させる。 登場人物の心理の変化を読み取ることで、小説の面白さを理解させる。 人間のエゴイズムや善悪の判断などについて、自由に討論させる。 重要語や基本句形を理解させる。		○	◎
	9	読み継がれる歴史「管鮑之交」 【中間考査】		◎	○	
	10	和歌による心の交流「筒井筒(伊勢物語)」	重要古語や文法、和歌の手法と効果について理解させる。	○	◎	
	11	読み継がれる歴史「鶏口牛後」	語句の用法と句法に基づいて、性格に現代語訳させる。 戦国時代について理解を深めさせる。			
	12	【期末考査】 「ことば」を吟味する「舟を編む」	小説読解の技法を用いて、登場人物の心情を理解させる。 登場人物と自分の考え方を比較し、自分の考え方や感じ方を深めさせる。		◎	○
三学期	1	平安宮廷文学の世界 「雪のいと高う降りたるを(枕草子)」	敬語の種類や用法について理解させる。	◎	○	
	2	漢詩のことば「漢詩」	漢詩のきまりを理解させる。音読により、漢詩特有のリズムを味わわせる。	○	◎	
		仮名日記文学の原点「門出(土佐日記)」 【学年末考査】	正確な現代語訳をさせる。また、女性仮託の背景と効果について考えを深めさせる。	◎	○	
	3	詩歌の系譜 「I was born」 詩歌の系譜 短歌・俳句	詩の形式について理解させる。作者が伝えたいことを理解させる。 短歌と俳句の手法とその効果を理解させる。	◎	○	○

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	教科書名(発行所)	国語表現改訂版(教育出版)	
学 期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい		評価の観点
		観点1	観点2	観点3	観点4	観点5		
一 学 期	4	2 文章表現の基礎				○文字の表記からわかりやすい文章の書き方まで、文章表現に必要な基礎力について確認する。		○
	5	中間考査						
	6	3 小論文 I				○小論文のテーマ一覧を参照することで自己の小論文テーマの幅を広げる。		○ ◎ ○
	7	4 声の表現				○声を出すことの重要性、困難性について理解を深める。 ○聞き手を意識した話し方について考えさせ、時と場所に応じた話し方を身に付けさせる。		
	8	6 面接 社会との接点				○自己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べるという面接の学習をおして、社会への参加能力を育てる。		○ ◎ ○
	9	10 小論文 II				○課題文型小論文の書き方を身につけるとともに、論文執筆の際のルールに習熟する。 ○課題文を的確に理解し、自らの意見を明確にして小論文にまとめる。		○ ◎ ○ ○
二 学 期	10	11 話し合いの方法				○目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。 ○ディベートの基本的な流れについて理解し、実際に取り組む。		○ ◎ ○
	11							
	12	14 メディア・リテラシー				○身の回りのさまざまなメディアについて知り、それぞれの特性をふまえた情報発信とその社会的意味について認識を深める。		○ ◎ ○
	12							
三 学 期	1	7 言葉遊びと創作				○意味の伝達という言葉の「中心」的機能だけでなく、遊び心のある言葉の世界を体験させる。 ○言葉のセンスを磨くと同時に、言語文化の歴史的な連なり、社会的な広がりを学ぶ。		○ ◎
	2	学年末考査						
	3							

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評 価 に つ い て	観点1: 関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	行動の分析(ノート・発言)
	観点2: 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	行動の分析(発表・ノート・メモ)
	観点3: 書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	記述の分析(ノート・発表・実作)
	観点4: 読む能力		
	観点5: 知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	行動の観察(発言・ノート)

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2	教科書名(発行所)	標準現代文B(第一学習社)						
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい			評価の観点				
		観点1	観点2	観点3	観点4	観点5							
一 学 期	4	第II章 世界を見つめる 食と想像力				○筆者が、体験を通して伝えたかったことを正しく理解させる。 <small>○現代社会や自分を取り巻く環境について再考させ、自分を見つめ直すきっかけをつかませる。</small> ○小説を読む際の基本的な読解方法を身に付けさせる。 ○登場人物の心理がどのように描かれているかを理解させる。 <small>○登場人物への共感や違和感について深く考えさせ、他者との関わり方について考えを深めさせる。</small> ○現代詩、近代詩の鑑賞のしかたを習得する。 ○詩のおもしろさについてまとめる。 ○「自己とは他者である」とはどういう意味かを把握する。 <small>○他者との関係の中で自己を考えるという視点から、自己について考えさせる。</small>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		5	中間考査 第II章 小説を読む(二) 『ひよこの眼』				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		6	期末考査 詩を味わう「食事」「ころ」				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
		7	生への思索「鏡としての他者」				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	8	中間考査 小説を読む(二)「バグダッドの靴磨き」					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	9	期末考査 短歌と俳句「折々のうた」					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	10						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
	11						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
二 学 期	12	人間と社会「経験の教えについて」				○具体例と抽象的な記述との関係を理解させる。 <small>○経験と自己認識との関係について理解させ、経験に学ぶことの重要性について考えさせる。</small> ○経験に学ぶことの難しさと重要性を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		1	学年末考査				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
		2					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
3					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

	評価の観点	評価の規準	評価の方法
評価 について	観点1: 関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・学習活動への取組の状況 ・課題の提出状況
	観点2: 話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして自分の考えを深め、発展させている。	・学習活動への取組の状況
	観点3: 書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めて発展させている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容
	観点4: 読む能力	文章の内容を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深めて発展させている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容
	観点5: 知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまり、文学史、作者や作品についての理解を深め、知識を身に付けている。	・定期考査及び小テスト ・提出課題の内容

東温高校 科目別シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	教科書名(発行所)	数研出版	評価の観点			
学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)				指導内容や学習のねらい			観点1	観点2	観点3
一 学 期	4	書き手の意図をつかむ「目指す世界の地図を作る」				表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解させる。また、「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。			○	◎	
	5	書き手の意図をつかむ/【チェックポイント1】わかりやすく話す				話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解させる。			◎	○	◎
	6	対比を読み取る「水の東西」				対比を用いた文章の特徴を理解させ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。個別の情報と一般化された情報との関係について理解させる。			○	◎	
	7	話し言葉の技術「ディベート・討議」				論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価させる。積極的に話し合いに参加し、話し合いの目的に応じて、結論の出し方を工夫することができる。				○	◎
	8	日常の中の文章「写真を文章で説明する」				自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えさせるとともに、表現の仕方を工夫させる。読み手に伝わりやすいように表現を考えることができる。				○	◎
	9	コミュニケーションと言葉「世間話はなぜするか」				実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色を理解させる。目的に応じて情報を相互に関連付けながら、書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めることができる。			○	◎	
	10	言葉の働きをとらえる「語感トレーニング」				実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語彙の構造や特色を理解させる。文章や話の中で使うことを通して語感を磨くことができる。			◎	○	
二 学 期	11										
	12	書き言葉の技術「要約する」				要約の方法を理解させる。筆者が言いたいことを見極め、正しく読み、適切にまとめることができる。			◎	○	
	1	根拠を読み取る「「わらしべ長者」の経済学」				文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。			◎	○	
三 学 期	2	書き言葉の技術「意見文を書く」				「報告分」「説明文」「要約文」「意見文」など、文章には目的に応じて様々な形態があることに注意を向けさせ、意見文の文章構成を理解させる。自分の意見が伝わるように文章の展開を考え、まとめることができる。			○	◎	
	3										

評価について	評価の観点	評価の規準	評価の方法
	知識・理解	習得した知識・技能を既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念などを理解したり、技能を習得したりしているか。	考查問題 小テスト
	思考・判断・表現	国語科の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているか。	考查問題・小テスト レポート作成 グループでの話し合い・発表
	主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を習得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方を試行錯誤して調整しながら、学ぼうとしているか。	ノート・課題への取組と提出の状況 授業中の発言と教師による行動観察 生徒による自己評価と相互評価の状況

令和5年度 東温高等学校シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	教科書名(発行所)	「高等学校 言語文化」(数研出版)
----	----	----	------	-----	---	-----------	-------------------

1 学習の到達目標

基礎的な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。また、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとするようになる。

2 評価の規準・評価の仕方

	知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 小説の読解方法を理解している。 詩や短歌、俳句のきまりや表現方法を理解している。	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色を正確に指摘し、作者の意図を推測しながら、その効果を説明できる。	積極的に古典作品や小説、韻文の表現方法やその効果について考察し、学習課題に沿って授業やグループ学習に参加している。
評価の仕方	定期考査 ワークシート 小テスト 単元テスト	定期考査 ワークシート 感想文 授業中の発言内容	授業中の態度 グループ活動時の態度 自己評価 授業ノート 提出物

3 学習計画及び評価の観点(観点1:知識・技能 観点2:思考力・表現力・判断力 観点3:主体的に学習に取り組む態度)

学期	月	指導計画(単元名、指導項目その他)	学習のねらい	評価の観点		
				観点1	観点2	観点3
一学期	4	古文の世界を楽しむ「児のそら寝(宇治拾遺物語)」	古典を読みために必要な文語のきまりや古典特有の表現を理解させる。	○	◎	
		日本語の中に生きる漢文「入門一」・「入門二」	訓読のきまりと書き下し文にするためのきまりを理解させる。	◎		○
	5	【中間考査】 故事と成語「狐借虎威」	訓読のきまりを定着させる。句法について学ばせる。 寓話が作られた背景や話者が主張しようとしたことを理解させる。	◎	○	
	6	和歌による心の交流「芥川(伊勢物語)」	和歌の手法や校歌を理解させる。 登場人物の心情を理解させる。	○	◎	
	7	【期末考査】 現代にも生きる教え 「ある人、弓射ることを習ふに」	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方・考え方と比較し、深めさせる。	◎		○
二学期	8	受け継がれる古文「羅生門」「探究の扉 今昔物語集」	小説読解における基本的学習事項を理解させる。 登場人物の心理の変化を読み取ることで、小説の面白さを理解させる。 人間のエゴイズムや善悪の判断などについて、自由に討論させる。 重要語や基本句形を理解させる。		○	◎
	9	読み継がれる歴史「管鮑之交」 【中間考査】		◎	○	
	10	和歌による心の交流「筒井筒(伊勢物語)」	重要古語や文法、和歌の手法と効果について理解させる。	○	◎	
	11	読み継がれる歴史「鶏口牛後」	語句の用法と句法に基づいて、性格に現代語訳させる。 戦国時代について理解を深めさせる。			
	12	【期末考査】 「ことば」を吟味する「舟を編む」	小説読解の技法を用いて、登場人物の心情を理解させる。 登場人物と自分の考え方を比較し、自分の考え方や感じ方を深めさせる。		◎	○
三学期	1	平安宮廷文学の世界 「雪のいと高う降りたるを(枕草子)」	敬語の種類や用法について理解させる。	◎	○	
	2	漢詩のことば「漢詩」	漢詩のきまりを理解させる。音読により、漢詩特有のリズムを味わわせる。	○	◎	
		仮名日記文学の原点「門出(土佐日記)」 【学年末考査】	正確な現代語訳をさせる。また、女性仮託の背景と効果について考えを深めさせる。	◎	○	
	3	詩歌の系譜 「I was born」 詩歌の系譜 短歌・俳句	詩の形式について理解させる。作者が伝えたいことを理解させる。 短歌と俳句の手法とその効果を理解させる。	◎	○	○